

整理番号：9－1

提言題名：市長コラムの廃止について

【提言の要旨】

広報という、おおよけの情報誌に、無責任な、ボヤキ的なコラムは、必要ないと思う。

特に、2023年2月15日号「5年連続転入超過」のコラムは、最悪であり、掲載目的が不明。

616人の転入超過とされているが、2022年の住民基本台帳にもとづく、総務省の人口移動報告では、茨城県内で、最多の転出超過で、-2490名である。

明らかな、大きな、齟齬がある。

まだ、未完成である、取手駅の西口整備が、転入超過とした要因も、工事が終わっていないので、理由とはならない。

市長の市政に対する「自画自賛」のコラムは中止し、市の部局などの公務紹介などに、紙面をぜひとも活用してほしい。

市長は、選挙にて交代されますが、行政実務者は交代されません。

(令和5年2月受付)

【回答の要旨】

このたびは、市長への手紙を通してご意見をお寄せいただきまして、ありがとうございました。

はじめに、今回の市長コラムで触れた「616人の転入超過」と総務省の住民基本台帳人口移動報告による「2,490名の転出超過」との数字の乖離についてご説明申し上げます。

まず、総務省の住民基本台帳人口移動報告における数字の数え方についてですが、こちらは日本国内における人口移動の情報を集計したものであり、国外からの転入者及び国外への転出者は含みません。この点は、下記総務省内のリンクにも記載があります。

◎統計局ホームページ 住民基本台帳人口移動報告 2022年（令和4年）結果

<https://www.stat.go.jp/data/idou/2022np/jissu/youyaku/index.html>

そうした前提を踏まえ、日本人と外国人とで転入転出をそれぞれ見てみますと、日本人は616人の転入超過、外国人は3,106人の転出超過であり、差し引きは2,490人の転出超過となります。

外国人の転出超過について詳しく見てみますと、外国人の日本国内での移動における取手市への転入者数は435人である一方で、転出者は3,541人もおります。

このように転出者が多い要因としましては、日本語学校が市内に複数あるため、技能実習生として取手市に1か月程度滞在する外国人がおり、この方々が国外から入国し、取手市に住民票を置き、1か月後には市外の就業先に転出をするというパターンが非常に多いことが挙げられます。このパターンの場合、総務省の住民基本台帳人口

移動報告では、転入はカウントされず、転出のみがカウントされるため、最終的に大幅なマイナスとして報告されているものと推測しております。

市としましては、+616人という日本人の5年連続の転入超過数を踏まえて、定住人口が着実に増えているものと認識をしております。

市長コラムの廃止につきましては、広報を担当します「魅力とりで発信課」と情報を共有し、貴重なご意見として今後の広報紙作成の参考とさせていただきます。

このたびは、貴重なご意見をお寄せいただきまして、ありがとうございました。
(秘書課 令和5年2月回答)